

## A級コーチ U-15 ライセンス 開設について

JFA2005年宣言における2015年、2050年の約束の実現のためには、U-12年代の子どもたちの育成は最重要事項の一つであると考え、2007年度より、A級U-12を開設した。U-12年代の指導のレベルアップ、地域でのリーダーとなりうる人材の養成、そしてこの年代の指導者の地位向上に一定の成果を得ている。

長期的視野に立った選手の育成において、各年代はそれぞれ特異であり、年代や子どもたちの発達、レベルに応じた働きかけが求められる。U-15年代は、U-12年代と同様に、育成の積み上げにおいて非常に重要な年代であり、指導の質、トレーニング環境やゲーム環境の向上を図ることが非常に重要である。この年代は、成長の個人差も著しく、心身に大きく変化をする時期であり、指導者の働きかけが、その後の成長に大きな影響を及ぼす。

この年代の指導の重要性、専門性を深めること、また社会に対し明示することで、この年代の指導者の活動を支持し、また各チームでこの年代に優れた指導者を配置することの意義を広めたい。

B級で指導の基礎をしっかりと押さえた上で、A級では専門性へのアプローチをしていく。U-12に続き、U-15年代の指導をより専門的に深めていくために、JFA独自のA級相当の指導者資格として、A級コーチU-15ライセンスを開設することとする。

### 1. 目的

- ① U-15年代の指導のスペシャリストとしての資質を養成する。
- ② U-15年代の指導者養成のインストラクター、U-15年代の指導者の地域のリーダーとなる人材を養成する。  
47FA ユースダイレクター、Jリーグアカデミーダイレクター、ナショナルトレセンU-14、16地域責任者はこの資格を保持することが望ましい。
- ③U-15年代の指導者の社会的地位の向上。

### 2. 受講資格

- ① B級保持者

### 3. 開催期間

A級ジェネラル、A級U-12に準じ、前・中・後期とする。

その他インターンシップ：U-15年代大会視察およびU-14 ナショナルトレセン指導者研修会参加、自チームでの指導実践等別途設定する。

### 4. 定員

24名

応募者の中から技術委員会で決定する。

初年度は1コース、次年度より2コース開催予定。

### 5. その他

本ライセンスはA級相当とし、リフレッシュ研修を義務付ける。

本ライセンスはA級U-12と並んで育成年代の最高位と位置付ける。

A級U-12と同様、S級既得者へのショートコースを検討する。